
評価制度の充実に向けた方策について (事務局説明資料)

令和 7 年 3 月 27 日

評価制度の課題について（総論）

- 現行の評価制度の課題として、都民に対する**更なるアカウントビリティ向上**や**効果的に機能する評価の仕組みづくり**が挙げられる。
- **外部有識者意見の活用**については、各評価において、順次導入・拡充を進めてきているが、**効率性・実効性の高い施策・事業の構築に向けて、より有効な活用方法の検討が必要**

【評価制度の課題】

① 都民に対する更なるアカウントビリティ向上 <客観性、透明性、わかりやすさの観点>

- 分かりやすさの観点や評価件数の増加等も踏まえ、**個別事業に関する公表内容は簡素な構成**としている
- **外部有識者意見の活用**は、政策評価やグループ連携事業評価の枠組において**重点的に実施**している

➔ **評価の更なるアカウントビリティ向上に向け、公表内容や外部有識者の活用について見直しを検討**

② より効果的に機能する評価の仕組みづくり <有用性、実効性、効率性の観点>

- 評価の質の維持・向上には、**各局（事業局）の自律・主体的な取組が不可欠なスキーム**である
- 制度の定着が図られてきている一方、**見直しの視点・手法が固定化**しつつある状況

➔ **効果的に機能する評価の実現に向け、各局（事業局）の自律・主体的な取組を後押しする方策を検討**

<評価制度における有識者意見の活用状況の推移>

	R3	R4	R5	R6	合計
政策評価					
ユニット数	9ユニット	11ユニット	13ユニット	10ユニット	43ユニット
事業数（事業評価対象）	97件	89件	113件	105件	404件
事業評価（デジタル関係評価）					
事業数		21件	20件	24件	65件
グループ連携事業評価					
団体数（事業目標数）			全33団体 (223指標)	全33団体 (221指標)	

R6評価で意見聴取した有識者数

【政策評価】

延べ**25名**（行政評価4名、各分野専門21名）

【事業評価】

延べ**9名**（デジタル分野）

【グループ連携事業評価】

延べ**36名**（行政評価7名、各分野専門29名）

評価制度の課題について

【事業評価の主な課題】

- ✓ 終期到来事業の事後検証の徹底や多面的検証の強化により、**評価公表件数は年々増加**
- ✓ **公表内容の簡素化**など評価業務の効率化を図ってきた反面、評価のルーティン化が課題
- ✓ **外部有識者意見の活用**は、デジタル関係評価のほか、政策評価やグループ連携事業評価において実施しているものの、**総事業数に占める割合は限定的**（※都の総事業数 約6,000事業）
- ✓ 事業の**見直しの視点や手法が固定化**しつつあり、それらのブラッシュアップが必要

【政策評価・グループ連携事業評価の主な課題】

- ✓ 様式の記載項目を見直し、評価内容の充実に取り組む一方、都民をはじめとする外部に対しては、**評価結果を分かりやすく伝えることが重要**
- ✓ 政策評価では、毎年度全庁で10事業ユニット程度を選定。事業ユニットの所管部署においては、**アウトカム指標の設定・分析、個別事業の効果検証、ロジックの整理**など業務負担が増加

【検討事項（案）・論点】

- 各局の**作成様式**や**公表内容**のあり方（記載項目の見直しなど） **共通**
- 個別事業の評価における**外部の視点の活用**のあり方 **事業評価**
- 見直しの視点や手法のブラッシュアップ（主に**公会計手法の活用**など） **事業評価**
- 評価制度を効果的に機能させるために**制度所管部署**が取るべき方策 **共通**

委員の皆様にご意見いただきたい論点（まとめ）

- 事業評価、政策評価、グループ連携事業評価の**作成様式や公表内容**について、都民へのアカウントビリティ向上や、評価内容等を都民に正しく伝える観点から、**見直すべき点や不足している要素**は何か
- 各評価の**実施方法やプロセス**において、都民へのアカウントビリティ向上の観点から、**取組を強化すべき点**はあるか
- 特に**事業評価**における「**外部の視点の活用**」について、客観性や透明性の確保の観点に鑑みて、現状の取組で十分か
- 事業評価における**公会計手法の活用**について、分析の視点は十分か（ブラッシュアップすべき点はあるか、その他の手法があるか）
- **国や他自治体の評価の取組と比較して改善すべき点**はないか。また、**先進事例**としてどのようなものがあるか
- 事業局（や評価業務に携わる職員）にとって、**評価の取組を自律・主体的に取り組む制度として効果的に機能**させるために、制度所管部署が取るべき方策はどのようなことが考えられるか